

狂言と落語の共演

日本伝統芸能

in CANAL

文化芸術の神様・天神さま

立川生志

野村万禄

平成26年1月21日(火) 19:00開演 (18:30開場)

チャンネルシティ劇場 料金 2,000円 (全席指定・税込)

主催 公益財団法人 福岡文化財団

後援/福岡市・福岡市教育委員会・公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団
協力/公益社団法人 福岡協会九州支部・チャンネルシティ劇場

特別協力 太宰府天満宮

文化芸術の神様・天神さま
in CANAL
日本伝統芸能

狂言と落語の共演

演目について

【狂言】
子ほめ こほめ

出演 シテ 男 野村万禄
アト 教え手 吉住 謙
小アト タケ 吉良博靖

酒好きな男が知り合いを訪ね、ただ酒を飲ませてほしいと頼みます。知り合いは、そういうときはお世辞を言つとよい、おとなに会ったら「年のわりに若く見える」と言つてほめ、子どもならば「梅楨(せんたん)は二葉より香ばし」「蛇は寸にして人を呑む」など

と、幼いうちからの秀才さをほめるように教えます。男はさっそくタケの家を訪ね、生まれたばかりの子をほめ始めますが…。

この狂言は落語「子ほめ」をもとに、一九九三年一月八世万歳(当時耕介)が作本・初演しました。

八世は「新しい演出で奇をてらうのではなく、落語をそのまま立体的にすることがすなわち古典狂言になる」と語り、狂言の技法を用いて、作品の世界とじっくり調和させています。



野村万禄

日本伝統芸能
in CANALとは、

より多くの方々に日本伝統芸能に気軽に触れる機会を持ってほしいという願いを込めて、2007年より様々なジャンルの伝統芸能をチャンネルシティ博多で紹介しています。

今回は、新春にふさわしく、「文化芸術の神様・天神さま」をテーマに、「笑いの文化」をお楽しみ頂きます。チャンネルシティ博多から、日本の伝統芸能の裾野が広がっていけば幸いです。

【落語】
初天神 はつてんじん

古典落語の演目です。毎年1月25日に天宮宮で行なわれる年の初めの祭りに出かけた、父と息子の金坊のやりとりを描いた落語らしい落語です。

参道に並ぶ屋台の品を買ってもらおうと、あの手この手でおねだりする金坊とそれに翻弄される父親の姿がユーモラスで微笑ましい噺です。

【落語】
井戸の茶碗 いどのちやわん

古典落語の演目です。清正公様臨の裏長屋で娘と暮らす貧乏浪人の千代田ト森から、正直者で通っている部屋清兵衛がト森に頼まれて普段は扱わない仏像を預かりました。その仏像が発端となり物語が進んでいきます。登場人物がすべて爽直な善人という、明るい人情噺として客、演者の側から共に人気が高い演目です。



立川生志

プログラム

〈対談〉「文化芸術の神様・天神さまについて
／伝統芸能・笑いの文化について」

立川生志・野村万禄
西高辻伯宏・中島浩二

〈狂言〉野村万禄「子ほめ」

〈落語〉立川生志「初天神」

「井戸の茶碗」

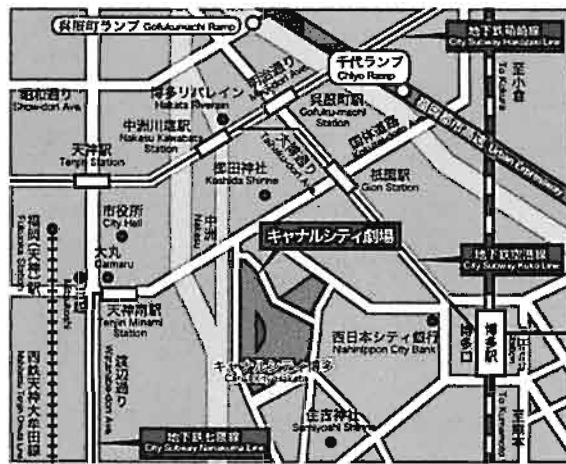
ナビゲーター
中島浩二

(なかじまこうじ)



「新春を彩る華やかな舞台を、チャンネルシティ劇場で一緒に楽しみましょう！」
24才でテレビ・ラジオのパーソナリティとなって以降、休む事無く20年、強烈な個性と喋りを武器に朝狂晩と活躍。

チャンネルシティ劇場 福岡県福岡市博多区
住吉1丁目2-1



【プレイガイド】

エムアンドエム 092-751-8257
チケットぴあ 0570-02-9999【Pコード:432-207】
ローソンチケット 0570-084-008【Lコード:89778】
チャンネルシティ劇場 092-271-6062
大濠公園能楽堂 092-715-2155
ちけっとぼーと (ソラリアプラザ店1F・福岡パルコ店5F)
メガチケットアトリエ (福岡アジア美術館7F)

主催/福岡文化財団
092-473-6777

後援/福岡市 福岡市教育委員会
公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団
協力/公益社団法人 能楽協会九州支部
チャンネルシティ劇場

特別協力/太宰府天満宮

チケットに関するお問合せ
エムアンドエム 092-751-8257

11月1日(金)
一般発売開始